

開講年次・時期	1年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	LA110	科目名	中国語 I	担当者名	藤巻 啓森
授業の概要	この科目の目的は口語中国語の基礎力を身につけることである。特に発音(子音, 母音, 声調)をマスターできるように主力をそそぐ。まず中国語のすべての音節を自分で聞き分け、正確に発音することができる能力を身につけるようにする。そのための耳と口の徹底的な訓練過程で基礎的な語句や文を学びながら、単文を中心とした口語の基本文法をマスターすることを目的とする。口語の基本的な例文を繰り返し徹底的に学習し、例文のすべてを正確に音声化することで将来の運用能力養成の前提となるよう進めたい。				
科目の到達目標	・基礎の中国語を習得した後、簡単な会話ができるようにする。中国語能力検定試験の準4級に合格できるように目指す。 ・この科目を習得することにより、中国文化の理解、そして中国人の物の考え方や習慣を見極め、ひいては日中の文化のより深い交流を目指す。				
DPの観点	①聴く力(20) ②表現力(20) ⑥専門知識・技能(60)				
授業時間外学修(予習・復習)	毎日約30分の練習と復習が必要。				
フィードバックの方法	総合テストの結果について教務課を通して通知する				
単位認定の要件	授業態度、学習意欲、そして期末試験の成績により単位認定の要件とする。				
評価の方法・割合(%)	1. 期末試験 70% 2. 授業内提出物 30%				
履修上の注意事項	事前の予習、事後の復習必要あり				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			学習の心得 発音1 ①単母音 ②声調 ③二重母音	①②⑥	会話
2			発音2 ①三重母音 ②子音	①②⑥	会話
3			発音3 ①鼻音 ②覚えておきたい表現	①②⑥	会話
4			第1課 挨拶する ①人称代名詞 ②“是” ③“吗” 疑問文	①②⑥	会話
5			第2課 名前を尋ねる ①疑問詞“谁”「誰」 ②疑問詞“什么”「何」「何の」③“的”「~の」	①②⑥	会話
6			第3課 食べたいものを尋ねる ①動詞述語文 ②副詞“也”「~も」 ③省略疑問文“呢”「~は？」	①②⑥	会話
7			第4課 近況を尋ねる ①形容詞述語文 ②曜日の言い方・尋ね方	①②⑥	会話
8			復習 I 第1課から第4課	①②⑥	練習問題の提出
9			第5課 予定を尋ねる ①疑問詞“哪儿”「どこ」 ②時刻の言い方と数詞 ③前置詞“和”「~と」	①②⑥	練習問題の提出
10			第6課 場所を尋ねる ①指示代名詞 (1) ②存在を表す“在”	①②⑥	練習問題の提出
11			第7課 注文する ①所有と存在を表す“有” ②数量の言い方	①②⑥	練習問題の提出
12			第8課 値段の交渉をする ①指示代名詞(2) ②いろいろな量詞 ③値段の言い方・尋ね方	①②⑥	練習問題の提出
13			復習 II 第5課から第8課	①②⑥	練習問題の提出
14			第9課 出来事を尋ね方a ①動作が発生したことを表す“了” 2連動文(1)	①②⑥	練習問題の提出
15			総合復習 第1課～第9課	①②⑥	練習問題の提出
期末試験			筆記試験		

使用テキスト	『できる・伝わる コミュニケーション中国語』
参考文献 参考URL	随時に指示
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
---------	--